

2021年9月2日

損害保険ジャパン株式会社

損保ジャパン「SOMPO Park」と三菱UFJ銀行「Money Canvas」 の相互連携と「親子のちから」の商品提供について

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員：半沢 淳一、以下「三菱UFJ銀行」）との企業タイアップにより、損保ジャパンが運営する会員制Webサイトである「SOMPO Park^{※1}」（<https://park.sjnk.co.jp/>）と三菱UFJ銀行の資産形成総合サポートサービスである「Money Canvas^{※2}」で相互のお客さまにサービスをご利用いただける仕組みの検討を開始しました。

※1 「楽しい」「得する」「役立つ」というコンセプトのもと、無料でゲームやクイズ、コラムなどを楽しめるWebサイトです。

※2 「Money Canvas」とは、三菱UFJ銀行が提供する資産運用プラットフォームであり、幅広い金融商品・サービスを提供し、スマートフォン上で検討や購入ができるWebサービスです。

詳細は、以下URLの三菱UFJ銀行のリリースをご参照ください。

https://www.bk.mufg.jp/news/news2021/pdf/news0902_2.pdf

1. 検討の背景

近年のデジタル化の加速により、さまざまな業界においてスマートフォンを起点としたサービス提供が進んでおり、損害保険や銀行などの金融業界においても、デジタルデバイスを通じた顧客接点の強化が求められています。そこで、損保ジャパンと三菱UFJ銀行は、お客さまのサービス利用促進につながるスキームの導入により、お客さまに対し自社の商品・サービスに捉われない新たな体験価値を提供していくことについて検討を開始しました。

2. 検討内容の概要

(1) 「SOMPO Park」×三菱UFJ銀行と「Money Canvas」の相互連携

三菱UFJ銀行が2021年12月にサービス開始を予定している資産形成のサポートを中心とした幅広い金融サービスをスマートフォンで一体提供するアプリ「Money Canvas」を利用するお客さまと、デジタルでお客さまとダイレクトにつながる、月間7,000万ページのアクセスのある会員制Webサイト「SOMPO Park」を利用するお客さまに対して、各々のサービスを相互にご案内し、幅広い金融サービスと、「楽しい」・「得する」・「役立つ」コンテンツを多くのお客さまにご利用いただくことを目指します。

(2) 「親子のちから^{※3}」を「Money Canvas」に提供

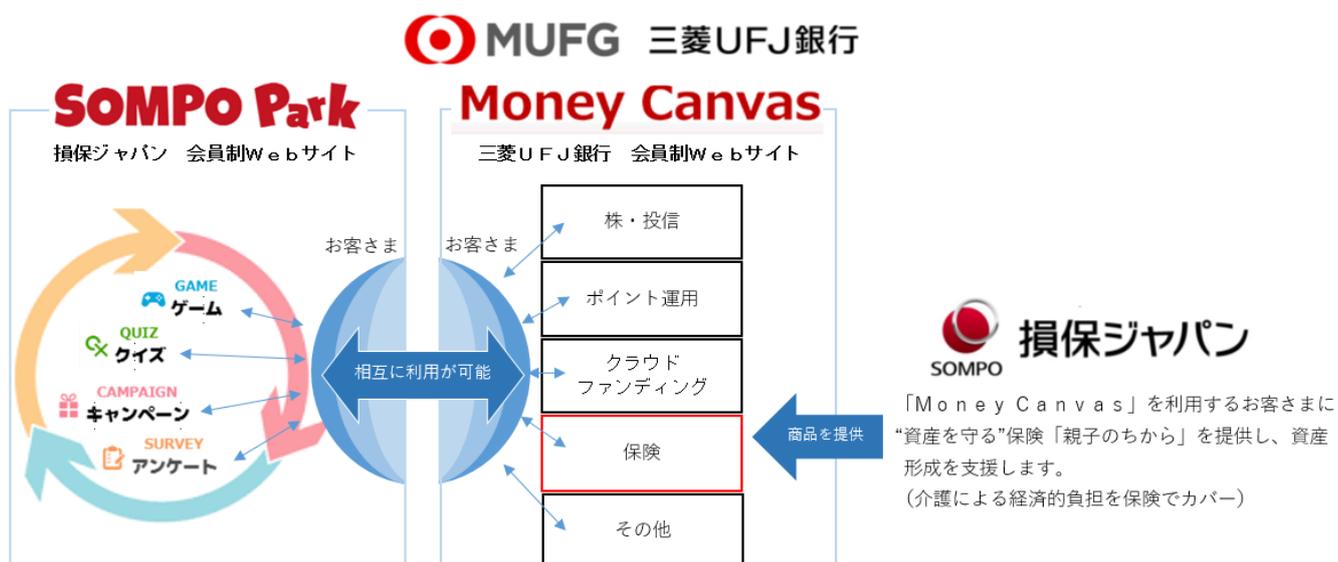
損保ジャパンは、「Money Canvas」を活用して資産形成を考えるお客さまに対して、“資産を増やす”を支える“資産を守る”保険商品を提供していきます。働く世代（資産形成層）の親の介護による負担は大きく、これからの長寿社会を支える働く世代の介護離職防止や経済的負担を軽減する「親子のちから」を第一弾として、2022年4月から提供する予定です。

※3 「親子のちから」は、親介護費用補償特約セット団体総合保険のペットネームです。

「親子のちから」の対象者（※4）が「要介護1かつ認知症自立支援度Ⅱa以上」または「要介護2～5」（要介護状態）に該当したことにより、対象者が利用した介護サービス等の費用を被保険者にお支払いします。

※4 「親子のちから」加入時にご指定頂く“被保険者の親御さま”を指します。

<検討イメージ>



自社の商品・サービスに採れない業界を超えた連携により、多くのお客さまが幅広い金融サービスと、「楽しい」・「得する」・「役立つ」コンテンツを相互に利用できる仕組みを目指します。

3. 今後について

損保ジャパンと三菱UFJ銀行は、「SOMPO Park」と「Money Canvas」で相互のお客さまにサービスをご利用いただける仕組みの構築により、お客さまの利便性向上を目指します。また、損保ジャパンは、“資産を守る”観点で「Money Canvas」のお客さまのニーズに合致した商品の提供を行っていきます。

以上